

未来を生き抜く力と健やかな「からだ」の育成

チーム武庫

7月号

三田市立武庫小学校長 松田文貴

《徐々に日常へと》

16日（木）には3年ぶりにオープンスクールを開催しました。授業時間のみではありましたが、3校時～5校時の授業を公開しました。多くの保護者の方がお越しくださいましたが、時間帯が広がったこともあり、過密な状況にはなりませんでした。学年・学級を問わずに参観いただけたので、ご自身のお子様の学級以外の授業を参観くださった方もおられました。「通常の参観日より、ゆっくりと授業を見られた」「子どもたちがのびのびとしていた。」「学校や子どもたちの様子がよくわかった」というような声をいただきました。学校地域運営協議会の委員である地域の方も来てくださり、学校の日常を参観くださいました。いただいた意見を今後の学校運営に生かしていきたいと考えています。

ご覧いただいた授業には、水泳もありました。時間を長めに取り、更衣やシャワーの時間を確保して密を避けたり、児童同士が同じ方に向けて活動をしたり、感染症対策を講じながらの活動でした。極力声を出さないよう指導していますが、子どもたちは久しぶり（中には小学校入学後初めて）のプールということで嬉しさを抑えきれない様子でした。はやく大きな声を出して活動できる日が来ることを願わずにはられません。

今年度に入り、少しずつではありますが、今までの教育活動を取り戻しつつあります。音楽の授業では、マスク着用の上、小声で口ずさんだり、3教室に分かれてリコーダー奏をしたりしています。家庭科の調理実習も、短時間でゆで野菜をつくるなど、工夫をしながら取り組めるようになりました。教室における話し合い活動も、短い時間で近くの子と相談する時間を少しずつとっています。知識や技能を身に付けること協働的な学習を進めること、どちらも子どもたちの成長には欠かせません。今後も、工夫を重ねながら、できることから取り組んでいきたいと思えます。

コロナ前と同じ活動に戻すことは難しいですが、子どもたちの安全を最優先に、従来の活動を取り戻すことと、新たな活動の在り方を探ることの両立を考え、日々の教育活動に取り組んでいます。ご理解くださいますようお願いいたします。



《適切な水分補給を！》

6月に梅雨が明けました。記録的な早さです。今後、9月末まで暑い日が続くとの予報も出ています。昨日から兵庫県にも熱中症警戒アラートが発表されています。ご確認いただき、ご家族の皆様ともども健康で安全な毎日を過ごしていただきたいと思えます。

学校での活動については、暑さ指数（WBGT）測定器を設置し、指数が31以上（気温35℃以上 参考）になれば、原則、屋外での運動を中止しています。これはプールにおいても同じです。指数や天候の状況、活動の内容等を総合的に判断し、休み時間であっても屋外に出ないように指示することもあります。また、お茶を飲みながら登校し、学校到着時には水筒が軽くなっている子もいます。「お茶ください」と職員室を訪れる子もたくさんいます。登校前の水分補給や水筒の準備など、今一度ご配慮をお願いします。（裏面参照）

《食の大切さ》

先日、2年生で食育の授業を行いました。給食センターから栄養教諭の山田友美先生に来ていただき、「いただき やさいパワー」と題した授業をしていただきました。紙芝居を見たり、プリントのクイズに答えたりしながら、いろいろな野菜について栄養素やその効果について学びました。

楽しみながら学ぶことができたので、子どもたちからは「野菜が食べなくなった。」「野菜をのこさんように。」という感想が聞かれました。プリントには「お家でチャレンジ」のコーナーがあり、野菜を食べたかどうかチェックできるようになっています。自分の食生活に関心を持つことは将来にわたって健康に過ごすためにとっても大切です。

野菜の名前、旬の季節、畑でどのように育っているのかなど、食卓で並んでいるものを見るだけでは、わからないことがたくさんあります。野菜について育ちの様子や旬の季節、栄養、原産地、名前の由来などいろいろな関心を持ってお子様と一緒に調べてみるのも楽しいですね。



《本は心の栄養》

例年、全国学力学習状況調査の質問紙や、本校の学校評価アンケートにて課題になっているのが読書習慣です。学校以外で読書をするという子どもたちが少ないという結果が毎年のように出ています。読書量と学習に向き合う姿勢、学力には関係があると言われ、豊かな情操が養われる、理解力が育つ、集中力が身につくなどの読書の良さや効果は理解されているようですが、読む本がない、時間がないなどが主な理由となり、読書習慣がなかなかつかないようです。

一方、タブレットやスマホを使ってゲームをしたり、動画を見たりする時間はしっかり確保されており、それに伴う、生活リズムの乱れやトラブルが学校生活や学習に影響を与えていることも見受けられます。

画面の中の情報は、時として自分の関心ごとや自分にとって都合の良い情報のみを選択して閲覧することにつながります。デジタルニュースや動画が悪いわけではありませんが、活用の仕方を今一度考えることが大切です。

絵本や小説、新聞、図鑑・・・いろいろな書物がありますが、これらに触れることにより、登場人物の心情を考えたり、作者の思考を読み取ったり、文字のみの情報から情景を想像したり、限られた情報の中から考えを膨らませる経験を積むことができます。

学校では朝読書の時間を設けたり、図書の時間を有効に活用したり、読書環境を整えたりしながら、読書習慣の向上に向けて様々な手立てをとっています。デジタル社会が進むにつれ、手軽に情報を入手できるようになり、大人も読書の時間が減ってきている時代です。大人も子どもも読書の価値を見直す必要がありそうです。

図書室には季節にちなんだ装飾もされています。読書に親しむための環境整備の一環で、ボランティアのみなさんが力を注いでくださっています。お勧めの本紹介もされています。これから夏休みに向かいます。子どもたちの健やかな「からだ」を育てるために、時間のある時に、ゲームや動画ではなく、読書の楽しさに触れる機会を家族で設けていただけるとを願っています。よろしく願いいたします。

7月25日(月)、26日(火)9:00~12:00に図書室を開放します。親子で来室されてはいかがでしょうか？



図書室に七夕かざり



願い事も書けます。



校長室前にも本紹介